

平成 27 年度

事業報告書

平成 28 年 6 月

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

目 次

1	管理部門	ページ
(1)	管理運営	3
(2)	施設開放状況	4
2	事業部門	
(1)	「精神障害者等」の社会参加への支援	
イ	精神科デイケア事業	
①	精神科デイケアの実施	
a	デイケア事業概況	5
b	平成27年度に在籍した通所者の概要	6
c	年度別通所開始者・終了者数	6
d	年度別通所終了者の理由	7
e	通所希望見学者及び受理面接者数	7
f	デイケア年間行事実施状況	7
g	関係団体の支援及び各種行事への参加状況	7
h	受入会議・スタッフミーティング	7
②	OB会活動支援	
a	アフターケア（OB会）関連業務	8
③	家族会活動支援	
a	家族会関連業務	8
④	地域生活支援事業	
a	地域生活支援業務	9
b	アフターケア及び相談関連業務件数（延べ人数）	9
ロ	障害者就労支援事業	
①	セミナー、模擬的な就労体験等	
a	就労支援関連業務	9
②	職場訪問	
a	職場訪問、事業所訪問等	9
ハ	障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業	
①	就労継続支援B型事業所の運営	
a	こころか・プロダクションの活動状況	10
b	スタッフ構成	10
c	メンバー構成	10
d	福祉手帳取得状況	11
e	通所者数	11
f	メンバーの工賃	11
g	活動内容	12
(2)	精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及	
イ	精神保健思想の啓発普及と研修事業	
①	地域精神保健スタッフ等研修事業	
a	デイケア・事業所スタッフのための発達障害講座	14
b	デイケア・事業所スタッフのためのソリューション講座	14
②	精神科リハビリテーションセミナー事業	
a	精神科リハビリテーションセミナー	15
③	実習生、見学の受け入れ事業	
a	施設見学等来所者状況	15
b	実習受入状況・実習指導者会議及び訪問による打ち合わせ	15
④	各種研修会への講師派遣事業	
a	各種研修会等への講師派遣状況	15
⑤	市民講座の開催	
a	市民講座、精神科リハビリテーションセミナー	15
⑥	精神障害者等に関する調査・研究事業	
a	三菱財団社会福祉事業・研究	16
b	「デイケア・プログラムの利用状況と薬物アドヒアランスの関係についての研究」 （北海道臨床精神薬理研究会助成事業）	16
⑦	北海道精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業）	
a	地域移行研修会	16
b	エリア別研修会	18
c	ピアサポーター研修	19

ロ	高次脳機能障害者支援事業等	
①	相談窓口及びリハビリ提供	
a	高次脳機能障害者支援事業（リハビリ提供・地域生活支援事業）	
	【在宅生活支援事業】	1 9
ハ	ひきこもり対策推進事業	
①	北海道ひきこもり成年相談センター・札幌市ひきこもり地域支援センターの運営	
a	相談支援実施状況	2 1
b	支援ネットワークの構築等	2 8
c	普及啓発	3 0
3	会計部門	
	貸借対照表	3 2
	正味財産増減計算書	3 3
	正味財産増減計算書内訳表	3 5
	財産目録	3 7
	財務諸表に対する注記	3 9
	収支計算書	4 2
	収支計算書に対する注記	4 4
4	監査報告	
	監査報告書	4 5
	資料編	
1	理事・監事・顧問・参与・評議員名簿	4 6
2	財団法人設立の経過等	4 6
3	施設の概要	4 7
4	基本財産	4 7

1 管 理 部 門

公益財団法人北海道精神保健推進協会は、精神障害者の社会復帰や社会参加の促進を図ることを目的に、精神科デイケア施設（独立型）である「こころのリカバリー総合支援センター」を運営するとともに、就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」を運営している。

リカバリーセンターでは医学的管理のもとに、通所者への個別的相談や指導、社会的自立のための基礎的訓練、生活指導、作業訓練、レクリエーション、体力づくりなどを週間プログラムに沿って実施している。また、北海道から委託を受け、高次脳機能障害者の受け入れ（平成16年度～）や精神障害者の入院から地域生活への移行支援事業の実施（平成19年度～）、「北海道ひきこもり成年相談センター」の運営（平成21年度～）を行っており、さらに平成27年10月からは、札幌市からの委託事業として、「札幌市ひきこもり地域支援センター」の運営を行っている。

（１） 管理運営

平成27年3月25日に開催の平成26年度第2回理事会及び第2回評議員会において議決承認された平成27年度の事業計画、事業予算に基づき当協会の事業運営に当たった。

業 務	年 月 日	内 容
平成27年度ひきこもり対策推進事業	契約日 平成27年3月30日	北海道と業務委託契約を締結 「北海道ひきこもり成年相談センター」業務の運営
平成27年度高次脳機能障がい者支援事業	契約日 平成27年3月30日	北海道と業務委託契約を締結 (リハビリ提供・地域生活支援事業)【在宅生活支援事業】
平成27年度精神障がい者地域生活支援事業(地域移行研修事業)	契約日 平成26年4月17日	北海道と業務委託契約を締結
平成27年度ひきこもり対策推進事業	契約日 平成27年9月25日	札幌市と業務委託契約を締結 「札幌市ひきこもり地域支援センター」業務の運営
当法人監事による平成26年度決算等監査	平成27年5月23日 於：こころのリカバリー総合支援センター	平成26年度事業の実施状況、予算執行状況、財産目録等関係帳票の監査
平成27年度第1回理事会	平成27年6月5日 於：北海道立道民活動センター	平成26年度事業報告、会計決算報告及び平成26年度補正予算の審議等
平成27年度第1回評議員会	平成27年6月24日 於：北海道立道民活動センター	平成26年度事業報告、会計決算報告及び平成26年度補正予算の審議等
平成27年度第2回理事会	平成27年7月3日 書面表決	常務理事の選任について
平成27年度第3回理事会	平成27年12月8日 書面表決	平成27年度事業計画の追加及び第2次補正予算について
平成27年度第2回評議員会	平成27年12月16日 書面表決	平成27年度事業計画の追加及び第2次補正予算について
平成27年度第4回理事会	平成28年3月25日 於：北海道立道民活動センター	平成28年度事業計画及び収支予算の審議等
平成27年度第3回評議員会	平成28年3月25日 於：北海道立道民活動センター	平成28年度事業計画及び収支予算の審議等
平成27年度こころのリカバリー総合支援センター地域連絡協議会の開催	平成28年3月28日 於：こころのリカバリー総合支援センター	当センターの運営状況、各種行事の実施状況の報告及び意見交換

(2) 施設開放状況

施 設	種 目	利 用 団 体 名	回 数	利 用 延人数
体育館	スポーツ	大谷地第一町内会 バトミントン	107	1, 101
		柏町内会 バトミントン	46	690
		柏タカース(少年野球)	18	360
		女子サッカーあかつき	18	475
	その他	白石区保健福祉部（地区住民健診）	1	25
		大谷地 夏祭り子供太鼓	3	70
集会室等の会議		リラの会（通所者の家族会）	24	322
前庭・駐車場	柏町内会 こども盆踊り大会		1	200
	白石区東部地区少年野球連盟 駐車場の利用		55	550
	白石うさこ保育園 駐車場の利用		2	50
合				

2 事業部門

(1)「精神障害者等」の社会参加への支援

イ 精神科デイケア事業

① 精神科デイケアの実施

a デイケア事業概況

H27										H28					
デイケア		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
月間開設日数 (A)		21	18	22	23	21	19	21	19	20	19	20	22	245	
開設日数【月火水金】(A1)		17	15	18	18	17	15	17	15	17	15	16	17	197	
開設日数【水】(A2)		4	3	4	5	4	4	4	4	3	4	4	5	48	
開設日数【金】(A3)		4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	50	
定員【月火水木=50】【金=70】		1,130	980	1,180	1,250	1,130	1,030	1,150	1,030	1,080	1,030	1,080	1,180	13,250	
定員【月火水50=】【金=70】		930	830	980	1,000	930	830	950	830	930	830	880	930	10,850	
(再掲) 上段:トータル 下段:高次脳	全部出席数合計 (B)	合計	861.5	775.5	902.5	880.0	798.0	766.0	763.0	768.0	779.0	703.5	791.5	841.5	9,630
		(うち高次脳)	113.0	97.5	116.0	104.0	90.0	90.0	81.0	69.0	70.0	61.0	67.0	84.0	1,043
	デイケア (B1)	680	611	716	706	660	609	595	633	652	590	677	705	7,834	
		109	92	112	100	88	86	74	65	67	59	66	80	998	
	ショートケア (B2)	27.5	26.0	28.5	32.0	22.0	30.0	33.0	26.0	32.0	17.5	24.5	14.5	314	
		1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	3	
	デイナイトケア (B3)	25	23	23	22	15	28	45	28	21	27	15	25	297	
		3	4	4	4	2	4	7	4	2	2	1	4	41	
	ナイトケア (B4)	16	18	19	16	11	9	9	12	4	8	8	13	143	
		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	再診	27	6	24	23	29	21	21	20	18	21	16	17	243	
		2	1	2	1	1	2	2	2	3	2	2	1	21	
	通院精神	15	13	6	18	7	7	10	10	5	9	10	10	120	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
電話再診等	1	1	1	1	1	0	1	2	3	4	4	4	23		
	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3		
定員出席率【月火水木金】		76.2%	79.1%	76.5%	70.4%	70.6%	74.4%	66.3%	74.6%	72.1%	68.3%	73.3%	71.3%	72.8%	
定員出席率【月火水金】		80.8%	80.2%	76.6%	72.2%	73.0%	74.9%	65.4%	73.6%	71.9%	68.1%	73.9%	73.8%	73.7%	
一日平均出席数 (B/A1)【月火水木金】		41.0	43.1	41.0	38.3	38.0	40.3	36.3	40.4	39.0	37.0	39.6	38.3	39.4	
一日平均出席数 (B/A1)【月火水金】		44.2	44.4	41.7	40.1	39.9	41.5	36.5	40.7	39.3	37.7	40.6	40.4	40.6	
月間在籍者数		136	135	133	135	133	133	135	137	136	136	136	140		
		24	24	24	24	22	22	21	21	20	20	20	20		
通所開始		5	0	1	3	2	0	2	3	1	1	0	4	22	
通所終了		1	3	1	6	0	1	1	3	2	0	0	4	22	
月末登録者数		135	132	132	131	133	133	134	135	134	136	136	135		
		24	24	24	22	22	21	21	20	20	20	20	20		
水曜デイケア		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開設日数 (A2)		4	3	4	5	4	4	4	4	3	4	4	5	48	
出席人数 デイ (デイ) (C1)		94	93	132	134	103	123	124	142	98	125	127	141	1,436	
出席人数 デイ (ショート) (C2)		4.5	5.0	5.0	7.5	2.5	7.0	4.0	4.5	4.5	3.5	4.5	1.5	54	
出席人数 デイ (再診) (C3)		10	1	3	4	9	8	5	5	2	7	7	4	65	
出席人数 高次脳 (デイ) (D1)		12	11	15	17	14	14	14	11	8	10	10	13	149	
出席人数 高次脳 (ショート) (D2)		0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	
出席人数 高次脳 (再診) (D3)		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
小計 (C1、C2、D1、D2)		110.5	110.0	152.0	158.5	119.5	144.0	142.0	157.5	110.5	138.5	141.5	155.5	1,640	
一日平均出席数		27.6	36.7	38.0	31.7	29.9	36.0	35.5	39.4	36.8	34.6	35.4	31.1	34.4	
一日平均出席率 (出席数/50)		55.3%	73.3%	76.0%	63.4%	59.8%	72.0%	71.0%	78.8%	73.7%	69.3%	70.8%	62.2%	68.8%	

b 平成27年度に在籍した通所者の概要

表. 1-1 通所者の件数

	男	女	計
前年度から継続	113	42	155
当年度に通所開始	12	10	22
計	125	52	177

表. 2-1 継続状況

	継続	通所終了	計
前年度から継続	134	21	155
当年度に通所開始	21	1	22
計	155	22	177

表. 3-1 通所者の年齢

年齢区分	男	女	計
15～19歳	2	3	5
20～29歳	29	20	49
30～39歳	34	12	46
40～49歳	42	16	58
50歳以上	18	1	19
計	125	52	177
平均年齢	38.1	34.4	37

表. 4-1 疾患別状況

	人数	構成
F2 統合失調症	76	42.9%
F3 気分（感情）障害	32	18.1%
F4 神経症性障害	16	9.0%
F6 人格障害	2	1.1%
F7 精神遅滞	1	0.6%
F8 発達障害	22	12.4%
F9 行動および情緒の障害	3	1.7%
G4 てんかん性障害	1	0.6%
高次脳機能障害（※）	24	13.6%
計	177	100%

※疾患別状況（高次脳機能障害内訳）

	人数	構成
F04 器質性健忘症候群	8	33.3%
F06 脳損傷、脳機能不全および 身体疾患による他の精神障害	8	33.3%
F07 器質性パーソナリティ行動障害	8	33.3%
計	24	100%

表. 5-1 通所年数

通所年数区分	通所者	終了者	計
1年未満	21	5	26
1年以上～3年未満	52	6	58
3年以上～5年未満	28	1	29
5年以上～10年未満	32	8	40
10年以上	22	2	24
計	155	22	177
平均通所年数	5.0	4.3	4.8
最短通所年数	0.1	0.1	
最長通所年数	19.6	11.0	

表. 6-1 出席状況

通所日数区分	在籍者	終了者	計
50日以下	97	22	119
51日以上～100日以下	16	0	16
101日以上～150日以下	19	0	19
150日以上～200日以下	13	0	13
201日以上	10	0	10
計	155	22	177
平均通所日数	62.4	8.7	56
最少日数	0	0	
最大日数	238	40	

表. 7-1 平成27年度終了者の終了時転帰

転帰区分	男	女	計
就労	4	1	5
事業所	6	1	7
在宅	2	2	4
中断	0	0	0
入院	1	3	4
死亡	1	0	1
その他	0	1	1
計	14	8	22

表. 8-1 居住地別状況

居住地	男	女	計
札幌市内	94	44	138
札幌市以外	31	8	39
計	125	52	177

c 年度別通所開始者・終了者数

（高次脳機能障害 再掲）

（単位：人）

年 度	通所開始者	通所終了者
昭和63年度～平成26年度 高次脳機能障害	763 (42)	607 (18)
平成27年度 高次脳機能障害	22 0	22 (4)
計	785 (42)	629 (22)

d 年度別通所終了者の理由

	年 度	就 労	事 業 所	在 宅	中 断	入 院	死 亡	そ の 他	計
総数	昭和63年度～平成26年度 (高次脳機能障害 再掲)	106 (3)	131 (4)	107 (4)	40	194 (6)	4	25 (1)	607 (18)
	平成27年度 (高次脳機能障害 再掲)	5	7 (3)	4	0	4	1 (1)	1	22 (4)
	総計	111 (3)	138 (7)	111 (4)	40	198 (6)	5 (1)	26 (1)	629 (22)

e 通所希望見学者及び受理面接者数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学者数	精神科デイケア	3	1	4	2	3	3	4	0	6	1	4	6	37
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
受理面接者数	精神科デイケア	3	0	1	4	1	1	4	2	0	0	1	4	21
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

f デイケア年間行事実施状況

月	日	曜 日	行 事 名	参 加 人 数	実 施 場 所	備 考
7	24 25	金 土	センター祭	45 49	当センター	
10	15 16	木 金	キャンプ	33	道民の森	
12	18	金	終了式	47	当センター	
12	26	土	臨時デイケア もちつき大会 町内会交流行事	33	当センター	
12	28	月	年納め会	38	当センター	
1	4	月	新年会	28	当センター	

g 関係団体の支援及び各種行事への参加状況

月	日	曜 日	支 援 及 び 行 事 名	実 施 場 所
4	16	木	IFリーグ	フットサルスタジアム蹴
4	30	木	グループホームラム 打ち合わせ	グループホームラム
4	30	木	苫小牧精神保健福祉拠点センター 開所式	苫小牧精神保健福祉拠点センター
6	11	木	キャップ・リングプル納品	白石区社会福祉協議会
6	17、18	水、木	相談支援従事者研修会	かでの2.7
6	22	月	道回連打ち合わせ	すみれ会
7	17	金	オーク会夏祭り	ばんのひろば
7	25	土	精神疾患当事者のリカバリーとピアサポートに関する研修会	市民活動プラザ星園
9	4	金	ソフトボール大会監督会議	WEST19
9	16～18	水～金	相談支援従事者研修会	市民活動プラザ星園
10	7～9	水～金	就労支援研修	ポリテクセンター
10	8	木	主治医研修	ロイトン札幌
12	25	金	すみれ会忘年会	札幌サンブラザ
1	7	木	キャンプ・リングプル納品	白石区社会福祉協議会
2	16	火	札幌連体育大会監督会議	WEST19
3	2	水	近隣施設研修会	びあとびあ
3	17	木	札幌市生活就労支援センターネットワーク会議	札幌市生活就労支援センターステップ
3	29	水	地域連絡協議会	当センター

h 受入会議・スタッフミーティング

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
スタッフミーティング	21	17	21	22	19	20	19	14	16	18	16	21	224
プログラム会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13
受入会議	4	1	1	3	2	0	5	2	0	0	0	3	21
クラブ講師打ち合わせ会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

② O B 会 活 動 支 援

a アフターケア（O B 会）関連業務

月	日	曜 日	内 容	場 所	参加 人数
8	26	水	幹事会（交流会の企画）	こころのリカバリー総合支援センター	4
10	31	土	元気でやっとなる会（交流会）	居酒屋 天壇	20
1	27	水	幹事会（交流会の企画） 機関紙（こまん・たれ・ぶー）編集	こころのリカバリー総合支援センター	3
4	2	土	元気でやっとなる会（交流会）	居酒屋 天壇	26

③ 家族会活動支援

a 家族会関連業務

(単位:人)

月	日	曜 日	内 容	出席 人数
4	1	水	総会準備 通信発送	8
4	15	水	総会	24
4	15	水	役員会	7
5	7	木	通信発送・役員会	6
5	20	水	例会 阿部所長の講話・話し合い	25
6	3	水	通信発送・役員会	6
6	17	水	メンバーとの交流会	20
7	1	水	通信発送・役員会	6
7	24	金	センター祭	39
7	25	土	センター祭	
8	5	水	通信発送・役員会	6
8	19	水	例会 学習会・話し合い	14
9	2	水	通信発送・役員会	6
9	16	水	例会 SST学習会・お楽しみ会	19
10	7	水	通信発送・役員会	6
10	21	水	例会 S S T阿部所長を囲んで 話し合い（活用できる諸制度）	26
11	4	水	通信発送・役員会	6
11	18	水	例会 学習会「高次脳機能障がい」・お楽しみ会	17
12	2	水	通信発送・役員会	6
12	16	水	例会 学習会「引きこもり」・お楽しみ会	18

(単位:人)

月	日	曜日	内 容	出席 人数
1	6	水	通信発送・役員会	6
1	20	水	例会 新年会	26
2	3	水	通信発送・役員会	6
2	17	水	例会 中野参事を囲んで	23
3	2	水	通信発送・役員会	6
3	16	水	例会 1年間をふり返って・役員会	23

④ 地域生活支援事業

a 地域生活支援業務

(単位:回数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家庭訪問		1	3	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	16
同行支援	病院				1									1
	区役所等											1		1
	その他				1				1		3			5

b アフターケア及び相談関連業務件数(延べ人数)

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
OB	14	6	12	15	22	22	22	15	23	12	16	12	191
OB家族等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
関係機関との電話 相談、打ち合わせ	12	11	11	15	14	9	6	5	10	5	4	21	123
その他 一般相談	5	5	3	0	1	2	6	5	3	3	5	2	40

□ 障害者就労支援事業

① セミナー、模擬的な就労体験等

a 就労支援関連業務

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就労トライアル		1	3							2	1		7
関係機関との打ち合わせ			1	2							1	1	5
計	0	1	4	2	0	0	0	0	0	2	2	1	12

② 職場訪問

a 職場訪問、事業所訪問等

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ハローワーク訪問			1		1	1			1				4
職場訪問、事業所訪問等	1	1	3	1	1	1	1				1		10
計	1	1	4	1	2	2	1	0	1	0	1	0	14

ハ 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

① 就労継続支援B型事業所の運営

a こころカ・プロダクションの活動状況

開設2年目を迎え、経験値と収益の増加を目標に活動してきた。人との関係を広げていくことにより、仕事を紹介してもらい、そのことによって経験値も上がり、仕事も増えるということである。大きな動きとしては、厚生労働省の「障害者の技術向上支援に係るモデル事業」を引き受け、2回にわたる札幌での研修を釧路にインターネット生中継し、報告集を発行することができたことである。このことは、この2年間で身につけた技術と結束力を試す良い機会となった。その他にも町内会関連、他団体からの仕事の依頼も増え、多くの人たちに支えられているという実感がある。工賃の安定支給にはまだ時間を要するが、地道に取り組む課題と捉えている。

b スタッフ構成

(平成28年3月31日現在)

職種	勤務形態
管理者・サービス管理責任者	常勤・兼務1名
生活支援員	常勤・専任1名 非常勤・専任1名
職業指導員	常勤・専任1名
目標工賃達成指導員	常勤・専任1名
調理員	非常勤3名

c メンバー構成

性別：登録者15名（男性12名、女性3名）

年齢：平均年齢40.9歳（最低25歳、最高53歳）

疾患別：

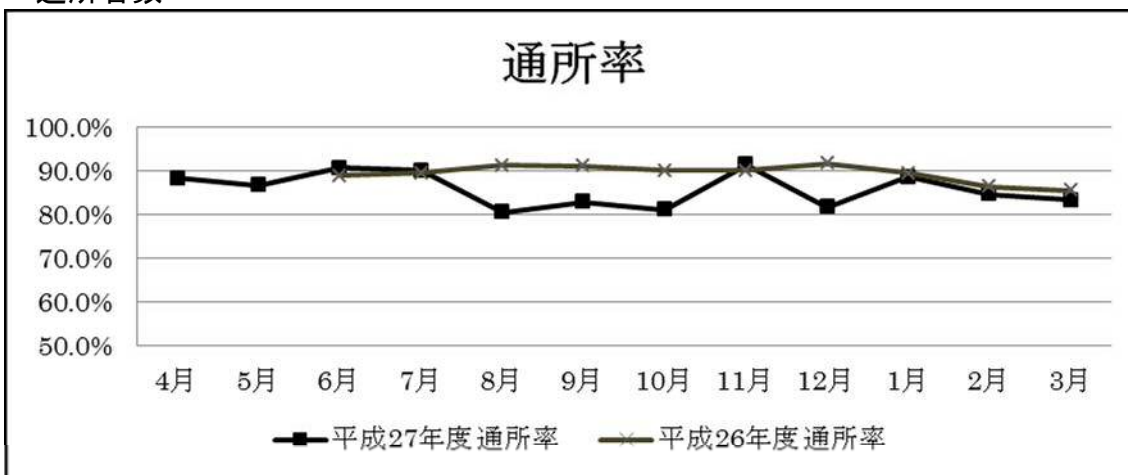
疾患名	人数
統合失調症	8
アスペルガー症候群	1
広汎性発達障害	1
広汎性発達障害・高次脳機能障害	1
広汎性発達障害・混合性不安抑うつ障害	1
自閉スペクトラム障害・双極性感情障害	1
高次脳機能障害	1
抑うつ状態	1
計	15

d 福祉手帳取得状況：

手帳等級	人数
精神保健福祉手帳 2 級	12
精神保健福祉手帳 3 級	1
※身体障害者福祉手帳 1 級	1
※療育手帳 B	1
なし	1
計	16

※重複 1 名

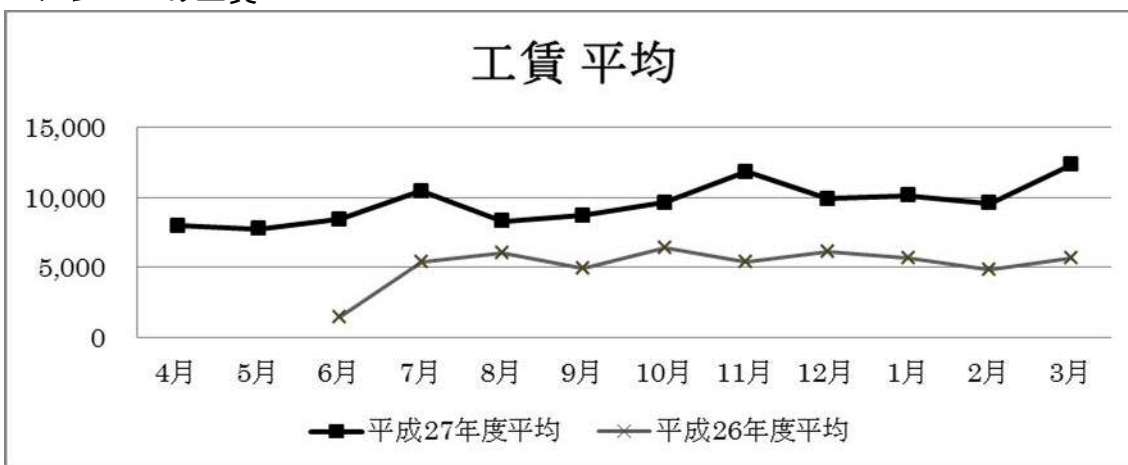
e 通所者数



平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	18	18	17	17	17	17	17	15	15	15	15	15
平均通所者数	15.9	15.6	15.4	15.3	13.7	14.1	13.8	13.7	12.25	13.3	12.7	12.5
通所率	88.3%	86.7%	90.6%	90.0%	80.6%	82.9%	81.2%	91.3%	81.7%	88.7%	84.7%	83.3%

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数			18	18	17	18	18	18	18	17	17	18
平均通所者数			16	16.1	15.5	16.4	16.2	16.2	16.5	15.2	14.7	15.4
通所率			89%	89%	91%	91%	90%	90%	92%	89%	86%	86%

f メンバーの工賃



平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成27年度
総支給額	143,379	140,079	143,579	177,879	141,379	148,379	163,979	177,379	148,779	152,179	143,979	184,779	1,865,743
平均	7,965	7,782	8,446	10,463	8,316	8,728	9,646	11,825	9,919	10,145	9,599	12,319	9,596

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成26年度
支給総額			26,550	96,700	103,000	114,900	114,900	97,900	110,900	97,200	83,300	103,100	948,450
平均			1,475	5,372	6,059	4,989	6,383	5,439	6,161	5,718	4,900	5,728	5,222

g 活動内容

○ 受託事業

事業名	回数	内容（日付）
地域移行研修	5	ピアカウンセリングセミナー： 八雲（10 / 5、10 / 6）、砂川（12 / 9、12 / 10） 研修講師：富良野（2 / 24）
厚生労働省モデル事業	2	広報力アップセミナー（1 / 13、3 / 9）

○ 大学等での講義

機関名	回数	内容（日付）
道都大学	1	講義（5 / 26）
北翔大学	1	講義（6 / 18）
北海道リハビリテーション大学校	2	講義（7 / 7、10 / 15）
札幌学院大学	5	講義（7 / 18）、事前打ち合わせ（6 / 15、7 / 16）、 合宿（8 / 27、8 / 28）
北海道医療大学	9	講義（9 / 30、10 / 7、10 / 21、10 / 28、11 / 11、 11 / 18、12 / 2、12 / 9）作業療法学科 OSCE（1 / 13）
北翔大学	2	講義（10 / 20、10 / 27）
旭川大学	1	講義（11 / 6）
北星学園大学	2	講義（11 / 17）、事前打ち合わせ 11 / 5）
札幌医科大学	1	講義（11 / 19）
千歳リハビリテーション学院	1	講義（11 / 27）

○ 専門職向け研修講師

研修名	回数	日付
社会福祉主事認定講習	2	7 / 13、7 / 14
北海道精神保健福祉士協会入会時指定研修Ⅱ	1	8 / 8
和歌山県ピア研修	1	8 / 28
生活福祉資金 民生委員向け研修	2	9 / 10、9 / 17
日本デイケア学会（大阪）	1	10 / 23、10 / 24
平成 27 年度施設相談員専門研修	1	11 / 10
釧路・根室圏域相談業務従事者等研修会	2	11 / 21、11 / 22
生活支援員研修会	2	12 / 21 空知地区、12 / 22 後志地区
株式会社光生舎職員研修会	1	3 / 12

○ 映像の撮影・編集

内容	回数	日付
FFP（生きづらさを抱えた若者達）のPV作成	5	打ち合わせ1回、撮影4回 期間（7 / 19 ~ 3 / 7）
しんぐるまざあず・ふぉーらむ主催 ひとり親サポーター養成講座の撮影	2	9 / 12、9 / 13
北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会 撮影	1	10 / 3
チームみずいろ（特定非営利活動法人ハートネットあすばら ピアサポーター）撮影	1	10 / 22
札幌市子ども未来局（子ども議会）DVD納品	1	3 / 17
作業療法士 鈴木明子先生インタビュー映像 撮影	1	1 / 20
白石東地区センター 20周年PV作成	17	打ち合わせ3回 撮影14回 期間（8 / 30~3 / 8）

○ その他

内容	回数	日付
北海道精神科診療所協会 リハビリテーション研究会 発送作業	2	案内発送8 / 7、冊子封入11 / 4
北海道精神保健協会 こころの健康 封入作業	2	9 / 8、3 / 4
白石町内会 回覧板資料作成等	3	

○ 行事

内容	日付
所内行事	
防火訓練	於：白石区防災センター（4 / 8）、
家族報告会	（4 / 24）
一周年記念イベント	（7 / 4）
親睦行事	お花見（5 / 1）、ボーリング（7 / 31）、 定山溪旅行（12 / 10、12 / 11）
こころのリカバリー総合支援センター行事への参加	
センター祭出店	（7 / 24、7 / 25）
終了式	（12 / 18）
餅つき	（12 / 26）
事業所紹介	（3 / 29）

○ 地域連携

機関	回数	日付
白石かがやき園	1	かがやき園祭参加（9 / 6）
ぴあとぴあ17	1	ぴあとぴあ17秋まつり参加（9 / 19）
柏町内会	2	町内会総会（4 / 19）、親睦日帰り温泉旅行（7 / 2）
白石区自立支援協議会	12	定例会（4 / 27、5 / 25、6 / 29、7 / 27、8 / 24、9 / 28、10 / 19、11 / 16、1 / 25、2 / 29、3 / 29）、運営部会（6 / 25）
札幌市自立支援協議会	1	3 / 28

○ 研修・会議等参加状況

研修	日付
札幌たまり場交流会	6 / 16
小樽ショートフィルムセッションワークショップ	6 / 27、6 / 28
障害者差別解消法道民フォーラム in 札幌	6 / 27、6 / 28
就労支援基礎研修	7 / 29、7 / 30、7 / 31
リカバリー全国フォーラム2015	8 / 21、8 / 22
わっしょい祭り	9 / 11

研修	日付
第2回白石区ウェルフェアカフェ	11 / 5
白石区事業所交流会	11 / 16
小樽ショートフィルム映像作品提出	11 / 27
「共に働くを考える」研修会	1 / 20
北海道医療大学実習指導者会議	1 / 20
中小企業同友会 障がい者問題委員会	1 / 20
JHC 板橋会ピアカウンセリングセミナー	2 / 17、2 / 18
障がい者生活支援センターみらい ケア会議	2 / 19
映文連アワード2015 受賞作品上映会	2 / 20
こころのピアサポートフォーラム2016	2 / 20、2 / 21
北海道アールブリュット・フォーラム	2 / 21
白石職員刺殺事件2周年 研修会	2 / 28
中小企業同友会 障がい者問題委員会	3 / 3
公益財団法人北海道精神保健推進協会 地域連絡協議会	3 / 28

○来所者数

	総人数	通所希望	関係機関	教育機関	OB	実習生	ボランティア	リハビリメンバー	その他
4月	5	0	2	1	0	0	0	1	1
5月	5	1	2	1	1	0	0	0	0
6月	11	2	2	0	2	2	2	0	1
7月	22	0	0	2	0	2	18	0	0
8月	10	0	0	3	0	3	1	0	3
9月	5	0	0	3	0	2	0	0	0
10月	3	0	0	0	0	0	0	0	3
11月	7	0	0	0	0	3	1	1	2
12月	6	0	1	3	0	2	0	0	0
1月	12	5	2	5	0	0	0	0	0
2月	13	0	4	5	2	1	0	0	1
3月	9	0	5	1	0	2	0	0	1
計	108	8	18	24	5	17	22	2	12

(2) 精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及

イ 精神保健思想の啓発普及と研修事業

① 地域精神保健スタッフ等研修事業

a デイケア・事業所スタッフのための発達障害講座

(単位:人)

月 日		開催地	参加人数
6月10日 (水)	「大人の発達障害」と「発達障害がある大人」をどう理解するか	当センター	20
7月8日 (水)	発達障害が疑われる大人の方の心理検査所見について	〃	25
2月10日 (水)	家族・周囲の対応について	〃	17
3月9日 (水)	事例検討	〃	16

b デイケア・事業所スタッフのためのソリューション講座

(単位:人)

月 日		開催地	参加人数
6月20日 (土)	病気のイロハとソリューション	当センター	39
8月29日 (土)	トラブル対応とソリューション	〃	30
11月14日 (土)	対象理解とソリューション	〃	31

② 精神科リハビリテーションセミナー事業

a 精神科リハビリテーションセミナー

(単位：人)

月 日		開催地	参加人数
9月26日（土）27日（日）	心理教育ワークショップin札幌～現場で活かそう心理教育	当センター	39

③ 実習生、見学の受け入れ事業

a 施設見学等来所者状況

精神科医療機関・就労支援事業所等 27回 延べ95人 受入

内訳

区分	機関数	人数
事業所関係	11	28
医療機関	5	23
市町村等	5	15
報道機関	1	1
教育機関	2	13
その他	3	15
計	27	95

b 実習生受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ

所属機関	回数	延べ日数	人数
医学部(自治医科大学、北海道大学)	3	6	10
看護学科(北海道医療大学)	5	17	14
福祉系学科(北海道医療大学、札幌学院大学、旭川大学、北翔大学、道都大学)	19	127	20
作業療法学(北海道大学、札幌医科大学)	7	66	26
臨床心理学(北海道大学大学院)	1	5	1
計	35	221	71

④ 各種研修会への講師派遣事業

a 各種研修会等への講師派遣状況

月	日	曜日	支援及び行事名	実施場所
10	13	火	コンシェルジュ事業説明会	アスティ45
10	29	木	札幌市自殺対策会議	WEST19
11	24	火	札幌市精神保健福祉相談員連絡会議	札幌市こころのセンター
2	2	火	介護支援専門員研修 講師	かでる2.7
2	29	月	札幌市自殺対策実務担当者意見交換会	WEST19

⑤ 市民講座の開催

a 市民講座、精神科リハビリテーションセミナー

(単位：人)

月 日		開催地	参加人数
3月26日（土）	ひきこもり講演会&相談会	当センター	52

⑥ 精神障害者等に関する調査・研究事業

a 三菱財団社会福祉事業・研究

研究期間	平成 26 年 10 月～平成 28 年 9 月までの 2 年間
研究テーマ	ピアサポーターと協働した精神科「社会的入院」患者に対してのモチベーション・サポートの効果的な実践の研究
研究の目的	精神疾患の自らの経験を活かし、他者をサポートするピアサポーターと協働し、精神科病院に長期入院しているいわゆる「社会的入院」患者に対して、交流会を継続的にを行い、「退院したい」「退院できるかも」という内在化しているモチベーションをサポートするには、どのような点に留意すべきかなど効果的な方法を研究する。また、そのようなピアサポーターの存在が、入院患者やその支援を行う関係者に対してどのような影響を与えるのかも研究する。
具体的な内容	札幌市内の協力病院 2 病院の病棟に、グループ訪問し、長期入院者と定期的に交流（茶話会）をもつことで、参加者（長期入院者、病棟スタッフ、ピアサポーター等）の意識がどのように変化するかなどを調査し、まとめる。 【茶話会実施回数】（平成 28 年 5 月 31 日現在） A 病院 8 回 B 病院 6 回 【茶話会実施のためのミーティング】 19 回
研究報告の作成	平成 28 年 9 月末までにデータ分析とまとめを行い、年内に報告書を完成する予定

b 「デイケア・プログラムの利用状況と薬物アドヒアランスの関係についての研究」（北海道臨床精神薬理研究会助成事業）

精神科リハビリテーション（デイケア）に通所しているメンバーの、薬物アドヒアランスがプログラムの利用状況とどのような関係があるかを、量的・質的に分析する研究。これまでデイケア通所中のメンバー数名に聞き取り調査を行い、平成 28 年度中に再度調査をして比較検討し、報告する予定。

⑦ 北海道精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業）

a 地域移行研修会

日 時	会 場（圏域）	参加者 （当事者数）	内 容
H27. 9. 17(木)	深川保健所 （北空知）	12 名 （0）	○ワークショップ 『これからの医療と福祉の連携を考える研修会』 ファシリテーター：リカバリー総合支援センター所長 事例提供者：北空知障がい者支援センターあつぷる 職員
H27. 10. 5(月) ～10. 6(火)	八雲総合病院 （北渡島檜山）	24 名 （11）	○ピアカウンセリング研修 『リカバリーとピアカウンセリングについて学ぼう』 講師：就労継続 B 型事業所 こころカ・プロダクションメンバー・スタッフ
H27. 10. 23(金)	羽幌町すこやか 健康センター （留萌）	11 名 （0）	○ワークショップ 『留萌圏域の現状を皆で考える～精神障がい者支援の充実にむけて』 ファシリテーター：こころのリカバリー総合支援センター所長
H27. 10. 26(月) ～10. 27(火)	苫小牧地域精神保健 福祉拠点センター （東胆振）	37 名 （6）	○ピアカウンセリング研修 『誰もが支援のパートナー ～精神障がいとピアカウンセリングについて学ぶ研修会～』 講義：「誰にもやさしいまちづくり～こころの病を理解するために～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 ピアカウンセリング研修 講師：こころのリカバリー総合支援センター職員

日 時	会 場（圏域）	参加者 （当事者数）	内 容
H27. 10. 29(木)	稚内市総合文化 センター小ホール （宗谷）	6 5 名 （ 8 ）	○講義とグループワーク・活動報告 講義：「誰にもやさしいまちづくり ～こころの病を理解するためには～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 活動報告「宗谷圏域におけるピアサポーターの活動について」 報告者：宗谷圏域精神障がい者地域生活支援センターピアサポーター
H27. 11. 6(金)	後志総合振興局 （後志）	4 1 名 （ 1 0 ）	○活動報告・講義・グループワーク 『誰にもやさしいまちづくり ～精神障がいとその支援を学ぶ研修会～』 活動報告「地域移行支援事業を活用した退院支援の実際」 報告者：J A北海道厚生連俱知安厚生病院 精神保健福祉士 医療法人社団修徳会 林病院 精神保健福祉士 講義「誰にもやさしいまちづくり～こころの病を理解するためには～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長
H27. 11. 20(金)	名寄市総合病院 （上川北部）	5 6 名 （ 7 ）	○講義と活動報告 講義「誰にもやさしいまちづくり～こころの病を理解するためには～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 活動報告：「上川北部圏域の精神障がい者地域移行支援の 実際について～ピアサポーターの活動を中心に～」 報告者：道北地域生活支援センターピアサポーター
H27. 11. 27(金)	道立江差病院 （南檜山）	3 9 名 （ 2 ）	○事例検討と講義 『事例を通して統合失調症の支援について考える』 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 事例報告者：上ノ国町地域包括支援センター職員
H27. 12. 9(水) ～12. 10(木)	砂川市地域交流 センターゆう（中空知）	1 9 名 （ 1 3 ）	○ピアカウンセリング研修 講師：こころカプロダクション職員・メンバー
H28. 2. 1(月)	遠軽地域生活支援 センター （遠紋）	2 7 名 （ 8 ）	○体験報告と座談会 『当事者から学ぶこころの病とその対応 ～精神障がいとリカバリーについて考える研修会～』 体験報告「こころの病とその回復に役立ったこと」 発表者：遠軽町地域生活支援センターピアサポーター 講義「統合失調症について～障がいの理解とリカバリー」 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長
H28. 2. 19(金)	登別三愛病院 （西胆振）	5 8 名 （ 0 ）	○実践報告 「地域との連携を取り入れた退院支援の実際について」 報告者：医療法人こぶし植苗病院 精神保健福祉士
H28. 2. 24(水)	ふれあいセンター なかまーる （富良野）	2 3 名 （ 6 ）	○伝達研修・講義・寸劇・グループワーク 伝達研修 「富良野圏域における地域移行にかかる今後の取り組みについて」 報告者：富良野地域生活支援センター 職員 講義「リカバリーについて～精神障がいの理解から～」 寸劇「当事者が考える長期入院について～リカバリーのプロセスと地域との関係を考える～」 講師：こころカ・プロダクション職員・メンバー
H28. 2. 24(水)	かでの 2.7 （釧路・根室・十勝）	4 0 名 （ 3 3 ）	○実践報告・座談会・グループワーク 実践報告「札幌市における 2 病院での茶話会の概要」 報告者：こころのリカバリー総合支援センター所長 座談会「茶話会を行った感想～難しかったことやその効果～」 五陵会病院 精神保健福祉士 旭山病院 作業療法士 ピアの会メンバー（ピアサポーター）

日 時	会 場（圏域）	参加者 （当事者数）	内 容
H28. 2. 26(火)	函館渡辺病院 （南渡島）	6 0 名 （ 2 ）	○講義と活動報告 講義「精神障害者が地域で生活することを支える動き」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 活動報告「函館におけるピアサポーターの活動について」 報告者：函館地域生活支援センター職員・ピアサポーター
H28. 3. 3(木)	空知総合振興局 （南空知）	4 4 名 （ 0 ）	○講義と活動報告・グループワーク 講義「これからの精神障がい者の地域移行の取り組み」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 活動報告「管内（圏域）の取り組みについて」 南空知圏域地域生活支援センターりらセンター長
H28. 3. 10(木)	網走保健所 （北網）	4 5 名 （ 4 ）	○実践報告・グループワーク 行政説明「北海道における精神障害者地域移行について」 報告者：北海道北見保健所 保健係長 実践報告 「北網圏域における精神障害者地域移行の状況について」 報告者：サポートネット北見 センター長
H28. 3. 17(木)	厚別区民センター （札幌）	3 0 名 （ 7 ）	○講義と実践報告 『退院支援でつながろう！～地域移行が学べる学習会～』 講義：こころのリカバリー総合支援センター所長 実践報告 「医療機関における退院支援～地域との連携の試み～」 報告者：旭山病院 作業療法士 ピアの会メンバー（ピアサポーター）
H28. 3. 23(水)	旭川市障がい者福祉 センターおびった （上川中部）	2 1 （ 3 ）	○報告 「地域移行・地域定着支援を検討するワーキンググループ」への参加 上川中部圏域地域移行支援協議会での地域移行関連の実績報告 報告者：こころのリカバリー総合支援センター職員

b エリア別研修会

日 時	会 場	参加者	内 容
H28. 1. 21(木)	道庁別館地下1階 大会議室	1 2 4 名 （ 1 9 ）	○講義と実践報告・グループワーク 講義「医療と福祉の連携について」 講師：地域生活支援センターサポートセンターきぬた 職員 行政説明「道における精神障がい者の地域移行について」 講師：道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 講義「人材育成の意義～医療と地域・行政がつながることのできる～」 講師：相談支援事業所レーヴ 管理者 講義「精神保健医療福祉の現状や歴史」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 講義「栃木県の取り組みについて」 講師：地域生活支援センターゆずり葉 施設長
H28. 1. 22(金)			○実践報告と演習 実践報告「道内の先駆的取り組み ～東胆振圏域の取り組みについて～」 報告者：苫小牧地域生活支援センター職員・ピアサポーター 医療法人こぶし植苗病院 作業療法士 演習

c ピアサポーター研修

年月日	参加者 (当事者再掲)	開催場所	内 容
H27. 10. 7 (水) ～10. 9 (金)	5 6 名 (4 4)	定山溪ホテル	1 日目 【開会式・オリエンテーション】 【研修報告】『全国リカバリーフォーラム』について 【GW1】①自己紹介 ②日頃のピア活動について話し合う 【交流会】 2 日目 テーマ『ピアサポーターの専門性ってなんだろう?』 【実践報告1】『北海道におけるピアサポーター活動の実際』 報告者：苫小牧地域生活支援センター ピアサポーター 富良野地域生活支援センター ピアサポーター 【実践報告2】『ピアカウンセラーとして大切にしていること～私の体験から～』 報告者：成田由美子氏 (JHC板橋会スペース・ピア ピアカウンセラー) 【演習】『ピアサポーターの専門性ってなんだろう?』 ファシリテーター：こころのリカバリー総合支援センター職員 助言者：成田由美子氏 (JHC板橋会スペース・ピア ピアカウンセラー) 3 日目 【実践報告3】『北海道におけるピアサポーター活動の実際』 報告者：旭川地域生活支援センター ピアサポーター 道北地域生活支援センター ピアサポーター 【鼎談】『ピアサポートの意義ってなんだろう?～色々な悩みを含めて～』 発言者：成田由美子氏 (JHC板橋会スペース・ピア ピアカウンセラー) 南空知地域生活支援センターりら ピアサポーター 苫小牧地域生活支援センター ピアサポーター 【グループワーク】 【閉会式】

□ 高次脳機能障害者支援事業等

① 相談窓口及びリハビリ提供

a 高次脳機能障がい者支援事業(リハビリ提供・地域生活支援事業)【在宅生活支援事業】

1. 支援プログラムの実施状況及び相談件数

○リハビリテーションプログラム実施状況(※通所登録者数は各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所登録者(人)	24	24	24	22	22	21	21	20	20	20	20	20	
実施回数(回)	21	18	22	23	21	19	21	19	20	19	20	22	245
延べ人数(人)	116	99	118	104	91	91	83	71	74	63	69	85	1064
1日平均通所者(人)	5.5	5.5	5.3	4.5	4.3	4.8	4	3.7	3.7	3.3	3.5	3.9	4.3

※終了者としては就労継続事業所へ移行し定着したため終了に至ったケースや、病状悪化により中断したケースがあった。通所リハビリ検討中のケースはいるが新規通所には至っていない。

【プログラムの内容】

AM：全通所者による話し合いで構成される文化系活動

(カラオケ、カードゲーム、茶話会等)

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動

(バドミントン、サッカー、卓球等)

小グループ(20名以下)による話し合いで構成される活動

(料理、話し合い、外出等)

認知訓練 グループでコミュニケーションを取りながら行う認知訓練、
個別プリント課題など

軽スポーツ エクササイズやヨガ等のゆるやかな運動

目的別の登録制のグループ活動（就労プログラム、心理教育、WRAP 等）

PM：全通所者による話し合いで構成される文化系活動

（カラオケ、カードゲーム、茶話会等）

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動

（バドミントン、サッカー、卓球等）

行事の企画運営グループ等

創作活動（陶芸、絵画、工芸）、話し合い系活動（歴史、英会話、茶道等）

火曜日、木曜日

行事への参加：キャンプ センター祭 体育大会

心理教育の実施：「高次脳機能障がい」をテーマにで実施。

高次脳機能障がい者本人及び家族対象。

※通所日数は、他機関との併用、体力や精神的疲労の度合いなど個々の状況に合わせて決定している。その中で複数あるプログラムから自分に適したプログラムを選択し参加する。（必要に応じスタッフがプログラム選択の助言を行う）

○相談支援件数と内容

	計	【相談内容】
電話（家族・本人）	64	・本人～対人関係や生活上の悩みや不安、就労等への準備、日常生活における計画や手順の工夫など
電話（関係機関）	29	
来所相談（家族・本人）	176	・家族～関わりの苦労、工夫を聴くほか、本人と他の家族との意思疎通や目標確認
文書・メール	3	
見学（家族・本人）	3	・医療機関（脳神経外科・リハ科・精神科病院、クリニック）～退院後の支援、リハビリテーションについて
見学（関係機関）	3	
手帳申請等	-	・行政機関、就労支援・介護支援・相談支援事業所～受け入れ先について、対応困難なケースについて
計	278	

○同行支援・家庭訪問件数と内容

・同行支援 【3 件】

就労・就学に向けた同行支援を主に行う。実際に就労継続支援事業所への見学や体験に同行する。本人同席での支援検討会議も行った。

・家庭訪問 【14 件】（4 月～3 月）

家庭での生活状況の確認。単身者への家事等の本人の自立に向けた助言、指導を行った。

関係機関との支援調整等を訪問で行った。

2. 支援計画の作成と評価

本人・家族の目標設定と振り返り

	実 施 内 容
4 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
4 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）
10 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
10～11 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）

3. 支援調整・検討会議の開催

○施設内支援検討会議

47 回／年

現在リハビリテーションを通して支援中の支援計画作成や支援計画の見直しを行うため、多職種で打ち合わせ。

○他機関と行った支援調整会議

5 回／年

就労移行、継続支援事業所、相談支援事業所のスタッフ多今後の支援計画を共有し、計画。

○その他他機関との連携等

21 回／年

連携先：介護施設 精神科医療機関 相談支援事業所 回復期病院 保健所
生活困窮者自立支援事業所

4. 支援ネットワークの構築

ホームページやパンフレット、研修会等で当施設を知った関係機関からの支援法や情報を求める連絡を受け、これまで確立したネットワークをもとに情報の伝達を行った。また、ケースを通じて就労継続事業所や保健師、介護支援専門員、訪問リハスタッフなどで支援目標の確認を共同で行うことや研修会の企画を共同で行うことで、お互いに相談でき対応の調整がしやすくなった。

5. 各地域相談担当者やサービス提供事業所への支援状況

○日時 平成 28 年 3 月 5 日（土） 主催：北海道大学病院

内容 「高次脳機能障害事例検討会」 講師、活動報告の依頼を受け行う。
講師：所長 阿部 幸弘 事業報告者：作業療法士 浅井直美

○日時 平成 28 年 3 月 10 日（木）

主催 上川北部リハビリテーション推進会議、名寄保健所

内容 研修会「高次脳機能障がい者支援の実践」 支援実施報告の依頼を受け行う。
事業報告者：作業療法士 浅井直美

ハ ひきこもり対策推進事業

① 北海道ひきこもり成年相談センター・札幌市ひきこもり地域支援センターの運営

a 相談支援実施状況

当施設では、平成 21 年 7 月 1 日から北海道から委託を受け、ひきこもりの相談事業を

開始している。なお、平成 27 年 10 月 1 日からは、札幌市ひきこもり地域支援センターの運営委託も受けている。

平成 27 年度の支援実績は以下のとおりである。

1. 相談支援件数

○相談件数

北海道

(単位：回)

相談件数計	6 2 7
新規相談	1 6 5
継続相談	4 6 2

札幌市

(単位：回)

相談件数計	4 9 8
新規相談	1 6 0
継続相談	3 3 8

○相談方法

北海道

(単位：回)

	新規相談	継続相談	計	構成比 (%)
電話	135	129	264	37.9
来所	11	192	203	29.9
メール	17	139	156	22.9
アウトリーチ	2	2	4	0.6
小計	165	462	627	
連携	－	49	49	7.2
ケア会議	－	4	4	0.6
小計	－	53	53	
計	165	515	680	100

札幌市

(単位：回)

	新規相談	継続相談	計	構成比 (%)
電話	121	91	212	40.5
来所	23	119	142	27.2
メール	16	123	139	26.6
アウトリーチ	0	5	5	1.0
小計	160	338	498	
連携	－	20	20	3.8
ケア会議	－	5	5	1.0
小計	－	25	25	
計	160	363	523	100

○相談時間

北海道

(単位：回)

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	83	73	85	23	264	115:37	26分
来所	2	2	15	184	203	237:45	1時間10分
メール	73	39	41	3	156	50:10	19分
アウトリーチ	－	－	－	4	4	6:50	1時間43分
連携	21	16	9	3	49	17:35	22分
ケース検討	1	－	2	1	4	2:20	35分
計	180	130	152	218	680	430:17	38分

札幌市

(単位：回)

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	53	74	67	18	212	92:00	26分
来所	0	1	6	135	142	178:20	1時間15分
メール	77	34	28	0	139	37:50	16分
アウトリーチ	0	0	0	5	5	7:15	1時間27分
連携	9	4	6	1	20	8:23	25分
ケア会議	1	3	1	0	5	1:40	20分
計	140	116	108	159	523	325:28	37分

2. アウトリーチ

北海道

延べ回数	実人数
4回	3名

札幌市

延べ回数	実人数
5回	4名

3. 連携状況

北海道

(単位：回)

連携先	件数	構 成 比 (%)
医療機関(精神科)	13	26.5%
民間企業	13	26.5%
生活困窮者自立生活支援センター	10	20.4%
保健所	4	8.2%
地域若者サポートステーション	3	6.1%
市役所保護課	2	4.1%
介護支援専門員	1	2.0%
相談支援事業所	1	2.0%
心理臨床相談機関	1	2.0%
知的障害者更生相談所	1	2.0%
計	49	100.0%

札幌市

(単位：回)

連携先	件数	構成比 (%)
医療機関(精神科)	5	16.1%
札幌市生活就労支援センター	5	16.1%
札幌市若者支援総合センター	4	12.9%
札幌市児童相談所	4	12.9%
札幌市地域包括支援センター	3	9.7%
心理臨床相談機関	3	9.7%
相談支援事業所	2	6.5%
社会福祉士事務所	2	6.5%
北海道精神保健福祉センター	1	3.2%
地域活動支援センター	1	3.2%
相談支援パートナー	1	3.2%
計	31	100.0%

4. 相談者の状況（新規初回相談）

○ 相談者内訳

北海道（単位：回）

	件数	構成比（%）
本人	26	15.8%
父・母	85	51.5%
兄弟姉妹等	24	14.5%
その他	30	18.2%
計	165	100%

札幌市（単位：回）

	件数	構成比（%）
本人	28	17.5%
父	22	13.8%
母	63	39.4%
両親	8	5.0%
兄弟姉妹等	11	6.9%
配偶者	1	0.6%
その他	27	16.9%
計	160	100%

○ 相談方法別相談者内訳

北海道（単位：回）

	電話	来所	メール	アウトリーチ	計
本人	17	0	9	－	26
父	13	2	2	－	17
母	60	5	1	－	66
両親	－	2	－	－	2
兄弟姉妹等	19	1	4	－	24
その他	26	1	1	2	30
計	135	11	17	2	165

札幌市（単位：回）

	電話	来所	メール	アウトリーチ	計
本人	20	3	5	－	28
父	16	4	2	－	22
母	51	9	3	－	63
両親	1	7	－	－	8
兄弟姉妹等	6	2	3	－	11
配偶者	1	0	0	－	1
その他	24	0	3	－	27
計	119	25	16	0	160

5. 当事者の状況

○ 当事者の年齢

北海道

(単位：回)

	男	女	不明	計	構成比 (%)
20 歳未満	16	9	－	25	15.2%
20 歳以上～29 歳未満	39	9	2	50	30.3%
30 歳以上～40 歳未満	32	15	－	47	28.5%
40 歳以上～50 歳未満	21	2	－	23	13.9%
50 歳以上～60 歳未満	8	2	－	10	6.1%
60 歳以上	1	－	－	1	0.6%
不明	3	2	4	9	5.5%
計	120	39	6	165	100%

札幌市

(単位：回)

	男	女	不明	計	構成比 (%)
20 歳未満	19	6	0	25	15.6%
20 歳以上～30 歳未満	38	7	0	45	28.1%
30 歳以上～40 歳未満	37	15	0	52	32.5%
40 歳以上～50 歳未満	21	5	0	26	16.3%
50 歳以上～60 歳未満	4	1	0	5	3.1%
60 歳以上	1	0	0	1	0.6%
不明	1	4	1	6	3.8%
計	121	38	1	160	100%

○ 当事者の居住地

北海道

(単位：件)

本人居住地	件数	構成比 (%)
石狩	87	52.7%
(うち札幌市)	(61)	(37.0%)
後志	10	6.1%
空知	13	7.9%
胆振	7	4.3%
日高	2	1.2%
渡島	2	1.2%
上川	11	6.7%
留萌	1	0.6%
オホーツク	4	2.4%
十勝	5	3.0%
釧路	2	1.2%
檜山	1	0.6%
宗谷	1	0.6%
道内	2	1.2%
道外(札幌市外)	4	2.4%
不明	13	7.9%
計	165	100%

札幌市

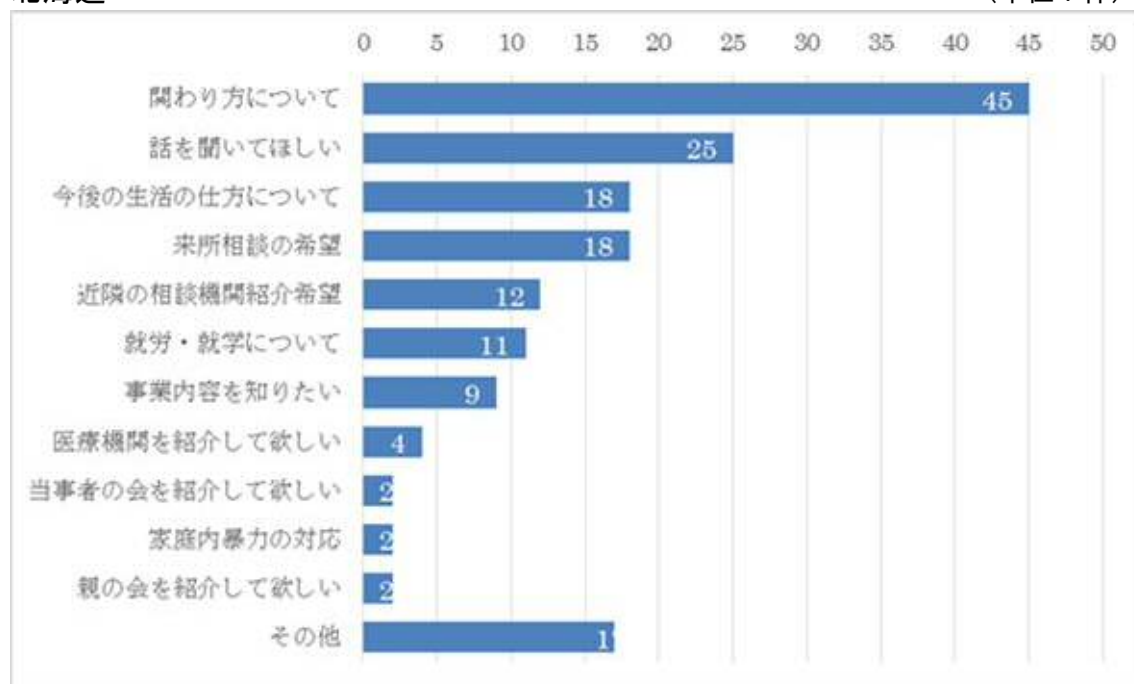
(単位：件)

本人居住地	件数	構成比 (%)
札幌市内	25	15.6%
札幌市白石区	19	11.9%
札幌市豊平区	10	6.3%
札幌市厚別区	13	8.1%
札幌市手稲区	6	3.8%
札幌市清田区	6	3.8%
札幌市中央区	10	6.3%
札幌市東区	26	16.3%
札幌市西区	11	6.9%
札幌市南区	11	6.9%
札幌市北区	22	13.8%
(道外)	1	0.6%
計	160	100.0%

6. 相談目的別件数

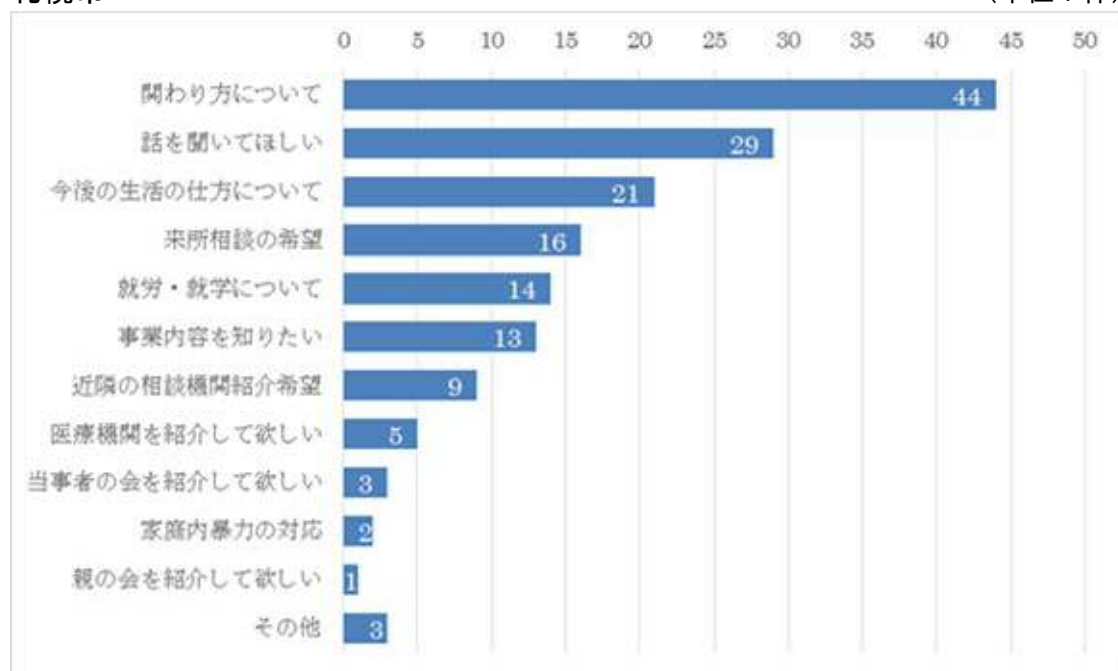
北海道

(単位：件)



札幌市

(単位：件)



7. 他機関への相談経験の有無

北海道

(単位：件)

	件数	構成比(%)
相談経験あり	112	67.9%
相談経験なし	15	9.1%
不明	38	23.0%
計	165	100%

札幌市

(単位：件)

	件数	構成比(%)
相談経験あり	108	67.5%
相談経験なし	3	1.9%
不明	49	30.6%
計	160	100.0%

8. 初回相談の転帰

北海道

転帰	件数
終了	99
助言終了	(85)
関係機関紹介	(14)
継続	66
来所を指導	(28)
電話相談継続	(30)
その他	(8)
総計	165

札幌市

転帰	件数
終了	71
助言終了	(61)
関係機関紹介	(10)
継続	89
来所を指導	(53)
電話相談継続	(36)
総計	160

9. ひきこもり相談から当施設精神科デイケアを活用したケース

○ 精神科デイケアへの通所

北海道

	人数
平成 27 年度	7
平成 21～26 年度	24
計	31

- ・ ひきこもり相談から当施設デイケア通所につながったケースは当年度 7 名であり、通算 31 名となっている。
- ・ 平成 27 年度に通所開始となったうち 1 名は、デイケア外来へ繋がり、2 週間に 1 度の診察を半年継続し、デイケア通所に繋がった。
- ・ デイケア通所した 31 名のうち、現在 9 名がデイケアから、就労など次のステップへ移行している。また、他医療機関に移行した者が 4 名いる。
(※ 一般就労での障害者雇用 2 名、就労継続支援事業所 A 型就労 2 名、就労継続支援事業所 B 型就労 2 名、就労移行支援事業所 1 名、就学 2 名)

札幌市

	人数
平成 27 年度	1

○ ひきこもり外来状況

北海道

年 度	延べ回数	実人数
平成 27 年度	64 回	7 名
平成 21 年～26 年度	185 回	38 名

札幌市

年 度	延べ回数	実人数
平成 27 年度	31 回	9 名

b 支援ネットワークの構築等

関係機関に対する事業概要説明をはじめ支援機関との支援者連絡会、研修会参加などにより各支援機関との情報共有、連携を行ってきた。

支援ネットワークの構築として、他の研修と連携し、「北海道ひきこもり成年相談センター」の相談会を行った。状況は以下のとおりである。

○ ネットワーク構築状況 北海道

	日	実 施 内 容	備 考
4	1 4	札幌市生活就労支援センター「ステップ」職員来所	
5	1 1	中標津保健所 相談先一覧へ掲載	
6	9	北海道保健福祉部福祉援護課 事業説明	
6	1 0	株式会社モダ石油見学	2 名
6	2 6	株式会社シグマスタッフ来所（福祉・介護人材確保支援事業）	2 名
6	2 6	芽室町保健推進課 小中学校向け相談先一覧へ掲載	
8	2 7	山梨県ひきこもり地域支援センター開設に関する問い合わせ	
1 2	4	夕張市役所福祉課 ひきこもりサポーター養成研修に関する問い合わせ	
1 2	7	帯広市役所青少年課 ひきこもりサポーター養成研修に関する問い合わせ	
1 2	9	第 1 回ひきこもりサポーター養成協議会	（3 団体）
1 2	1 4	岩見沢市保護課 地域ネットワークに関する問い合わせ	
2	4	第 2 回ひきこもりサポーター養成協議会	（3 団体）
2	2 9	中標津保健所 相談先一覧の配布に関する問い合わせ	

○ ネットワーク構築状況 札幌市

月	日	実 施 内 容	備 考
1 1	1 6	札幌市子ども未来局子ども育成部長来所	2 名
1 1	1 6	さっぽろ子ども・若者支援地域協議会実務者会議 事業説明	
1 2	9	ひきこもりサポーター養成協議会 第 1 回	(3 団体)
1 2	1 0	札幌市オンブズマン発意調査	3 名
1 2	1 0	札幌市保護自立支援課、札幌市生活就労支援センター実務者打ち合わせ	8 名
1	2 7	札幌市豊平区第 3 地域包括支援センター職員来所	3 名
2	4	ひきこもりサポーター養成協議会 第 2 回	(3 団体)
2	1 5	地域包括支援センター業務連絡会議	2 名参加
3	1 7	札幌市生活就労支援センターネットワーク会議	1 名

○ ひきこもり支援関係者等研修会実施状況

北海道・札幌市

月	日	実 施 内 容	備 考
1 2	9	当事者及び家族に対する模擬心理教育	参加者：当事者 4 名、家族 4 名
3	2 6	平成 27 年度 ひきこもり支援機関関係職員等研修会	参加者 59 名 札幌市外 32 名、札幌市 27 名

○ ひきこもり関連会議参加状況

北海道・札幌市

月	日	実 施 内 容	備 考
6	5	さっぽろ子ども・若者支援地域協議会実務者会議	1 名参加
7	7	石狩市こども・若者支援地域協議会 実務者会議	1 名参加
7	3 1	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（横浜市）	1 名参加
8	6	さっぽろ子ども・若者支援地域協議会実務者会議	1 名参加
8	2 7	石狩市こども・若者支援地域協議会 実務者会議	1 名参加
1 1	1 6	さっぽろ子ども・若者支援地域協議会 子ども・若者支援セミナー 主催：札幌市若者支援総合センター	2 名参加
1 1	1 6	さっぽろ子ども・若者支援地域協議会実務者会議	2 名参加

月	日	実 施 内 容	備 考
1 1	1 8	北海道地域若者サポートステーション連絡会議	1 名参加
1 1	1 8	北海道子ども・若者支援地域協議会	1 名参加
1 1	2 4	札幌市精神保健福祉相談員事業説明	2 名参加
1 2	1 1	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（神戸市）	1 名参加
1 2	1 5	石狩市こども・若者支援地域協議会 実務者会議	1 名参加
2	2 6	ひきこもり支援者連絡会議（渡島保健所、七飯町）	2 名参加
3	2	さっぽろ子ども・若者支援地域協議会実務者会議	1 名参加

○ 外部研修参加状況

北海道・札幌市

月	日	実 施 内 容	備 考
5	1 6	北海道ひきこもり芸術展 in 札幌 主催：NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	4 名参加
7	3 1	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会・研究協議会研修会 （横浜市）	1 名参加
8	6	子ども若者支援セミナー 「札幌市生活就労支援センターの取り組みについて」 主催：札幌市若者支援総合センター	1 名参加
1 0	2 4	『ひきこもりリフューチャーセッション』 主催：NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	2 名参加
1 2	1 1	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会・研究協議会研修会 （神戸市）	1 名参加

○ 普及啓発

○ 普及啓発実施状況

北海道

月	日	実 施 内 容	備 考
5	1 1	北海道テレビ放送 記者取材申込み	
5	1 3	北海道テレビ放送 記者取材	
5	1 8	北海道テレビ放送 番組放映	
9	1 5	OECD視察団（ニート対策）来所	4 名来所
1 1	1 5	北広島市制度ガイドブック掲載	
1 1	1 9	NHK職員 取材申込み	
1 2	1 0	北海道新聞 問い合わせ	
3	1 0	「ひきこもり講演会&相談会」北海道新聞記事掲載※	
3	1 2	ひきこもり講演会「ひきこもりについて」及び相談会実施※	参加者 57 名
3	1 3	「ひきこもり講演会&相談会」北海道新聞記事掲載※	

※北海道・札幌市共催事業

札幌市

月	日	実 施 内 容	備 考
9	30	北海道新聞取材	
10	1	北海道新聞・毎日新聞記事掲載	
10	7	朝日新聞記事掲載	
11	4	STVラジオ収録	
11	14	STVラジオ放送	
11	16	さっぽろ子ども若者地域支援評議会での事業説明	
11	16	広報さっぽろ 記事掲載	
11	24	札幌市精神保健福祉相談員へ事業説明	

○ リーフレットの作成配布

講演会や各種会議などを活用し、ひきこもり本人及び家族に向けたリーフレットを配布した。

北海道

配布月日 5月15日、5月20日、11月18日、1月5日、2月5日、3月28日

1,200部（北海道子ども若者地域支援協議会、北海道サポステ連絡協議会、
函館カナリアの会、当法人主催講演会）

札幌市

配布月日 11月16日、11月23日、1月27日、1月29日

430部（札幌市子ども未来局、札幌市精神保健福祉相談員事業説明、
札幌子ども若者地域支援協議会、札幌市豊平地域包括支援センター、
当法人主催講演会）

○ インターネット利用（ホームページ）による情報発信

ひきこもり相談ホームページアクセス件数

年 度	件 数	備 考
平成27年度	13,552件	
26年度	13,865件	
25年度	11,431件	
24年度	8,032件	
23年度	4,232件	
22年度	3,220件	
21年度	3,109件	(9ヶ月分)

3 会 計 部 門

貸 借 対 照 表

平成28年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	9,632,191	8,475,203	1,156,988
普通預金	9,632,191	8,475,203	1,156,988
未収金	21,691,706	18,835,319	2,856,387
前払金	70,000	70,000	
流動資産合計	31,393,897	27,380,522	4,013,375
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,982,970	49,974,971	7,999
諸貯金	17,030	25,029	△7,999
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	34,083,323	29,459,628	4,623,695
減価償却引当資産	44,710,608	38,010,608	6,700,000
土地	347,016,000	347,016,000	
建物	497,434,011	497,434,011	
什器備品	23,768,993	23,143,163	625,830
減価償却累計額 △	366,490,102	357,109,375	9,380,727
特定資産合計	580,522,833	577,954,035	2,568,798
(3) その他固定資産			
構築物	7,414,959	7,414,959	
車両運搬具	2,207,755	2,207,755	
減価償却累計額 △	8,237,526	8,010,574	226,952
電話加入権	352,024	352,024	
預託金	45,460	45,460	
その他固定資産合計	1,782,672	2,009,624	△226,952
固定資産合計	632,305,505	629,963,659	2,341,846
資産の部合計	663,699,402	657,344,181	6,355,221
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,356,843	3,726,939	2,629,904
未払消費税等	442,800	789,500	△346,700
預り金	2,259,293	824,305	1,434,988
流動負債合計	9,058,936	5,340,744	3,718,192
2 固定負債			
退職給付引当金	34,083,323	29,459,628	4,623,695
固定負債合計	34,083,323	29,459,628	4,623,695
負債の部合計	43,142,259	34,800,372	8,341,887
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	165,429,377	174,066,550	△8,637,173
民間助成金	161,285	162,633	△1,348
寄付金	30,000,000	30,000,000	
受贈土地	347,016,000	347,016,000	
指定正味財産合計	542,606,662	551,245,183	△8,638,521
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	()
(うち特定資産への充当額)	(492,445,377)	(501,082,550)	(△8,637,173)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(77,950,481)	(71,298,626)	6,651,855
(うち特定資産への充当額)	(53,994,133)	(47,411,857)	6,582,276
正味財産の部合計	620,557,143	622,543,809	△1,986,666
負債及び正味財産合計	663,699,402	657,344,181	6,355,221

正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	245,846	289,092	△43,246
基本財産受取利息	245,846	289,092	△43,246
特定資産運用益	3,929	3,774	155
特定資産受取利息	3,929	3,774	155
事業収益	107,577,591	109,882,573	△2,304,982
国保連合会収益	45,857,465	51,510,733	△5,653,268
社保支払基金収益	29,054,122	28,303,836	750,286
介護自己負担金収益	3,649,460	3,652,740	△3,280
研修事業収益	624,000	471,500	152,500
就労支援事業収益	1,502,002	791,651	710,351
訓練等給付費収益	25,483,502	23,709,153	1,774,349
就労支援自己負担金収益	538,800	573,400	△34,600
その他の事業収益	868,240	869,560	△1,320
受取補助金等	32,045,828	27,566,086	4,479,742
受取補助金等振替額	12,981,521	8,776,283	4,205,238
北海道委託金	15,260,547	15,343,523	△82,976
札幌市委託金	3,803,760	3,446,280	357,480
受取寄付金	1,359,000	59,000	1,300,000
受取寄付金	1,359,000	59,000	1,300,000
雑収益	646,476	448,224	198,252
受取利息	12,636	8,641	3,995
雑収益	633,840	439,583	194,257
経常収益計	141,878,670	138,248,749	3,629,921
(2) 経常費用			
事業費	116,917,647	113,707,818	3,209,829
給料手当	57,876,843	53,087,148	4,789,695
臨時雇賃金	9,179,473	16,529,111	△7,349,638
退職給付費用	4,207,562	2,046,476	2,161,086
福利厚生費	9,740,929	10,016,320	△275,391
旅費交通費	1,977,350	1,872,700	104,650
通信運搬費	896,722	872,138	24,584
減価償却費	9,282,753	9,353,279	△70,526
消耗什器備品費	933,813	591,882	341,931
消耗品費	2,449,672	2,646,017	△196,345
修繕費	2,399,925	66,075	2,333,850
印刷製本費	225,828	273,564	△47,736
燃料費	748,421	1,115,386	△366,965
光熱水料費	2,017,705	1,920,346	97,359
賃借料	1,757,180	1,535,771	221,409
保険料	595,301	371,011	224,290
諸謝金	2,955,500	2,543,600	411,900
租税公課	910,189	843,310	66,879
支払負担金	313,759	298,955	14,804
委託費	5,295,764	5,613,217	△317,453
医薬材料費	20,274	15,873	4,401
ダイケア材料費	1,026,221	947,812	78,409
利用者工賃	1,865,743	923,050	942,693
支払手数料	240,720	224,777	15,943
管理費	18,306,174	19,339,373	△1,033,199
役員報酬	103,600	88,800	14,800
給料手当	13,174,482	14,141,164	△966,682
臨時雇賃金	12,272	105,999	△93,727
退職給付費用	416,133	202,399	213,734

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
福利厚生費	1,987,947	2,202,394	△214,447
会議費	32,940	30,909	2,031
旅費交通費	26,640	23,040	3,600
通信運搬費	117,464	118,247	△783
減価償却費	621,182	622,956	△1,774
消耗品費	154,242	148,357	5,885
修繕費	166,511	4,125	162,386
燃料費	52,193	68,229	△16,036
光熱水料費	127,129	123,905	3,224
賃借料	32,174	63,175	△31,001
保険料	53,933	44,870	9,063
租税公課	30,761	14,790	15,971
支払負担金	59,241	70,245	△11,004
雑費	29,388	26,120	3,268
支払手数料	54,941	54,338	603
委託費	1,053,001	1,185,311	△132,310
経常費用計	135,223,821	133,047,191	2,176,630
評価損益等調整前当期経常増減額	6,654,849	5,201,558	1,453,291
評価損益等計			
当期経常増減額	6,654,849	5,201,558	1,453,291
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	2,994		2,994
什器備品売却損	2,994		2,994
経常外費用計	2,994		2,994
当期経常外増減額	△2,994		△2,994
税引前当期一般正味財産増減額	6,651,855	5,201,558	1,450,297
当期一般正味財産増減額	6,651,855	5,201,558	1,450,297
一般正味財産期首残高	71,298,626	66,097,068	5,201,558
一般正味財産期末残高	77,950,481	71,298,626	6,651,855
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	4,343,000	300,000	4,043,000
受取国庫補助金	3,255,000		3,255,000
受取民間助成金	1,088,000	300,000	788,000
一般正味財産への振替額	12,981,521	8,776,283	4,205,238
一般正味財産への振替額	12,981,521	8,776,283	4,205,238
当期指定正味財産増減額	△8,638,521	△8,476,283	△162,238
指定正味財産期首残高	551,245,183	559,721,466	△8,476,283
指定正味財産期末残高	542,606,662	551,245,183	△8,638,521
III 正味財産期末残高	620,557,143	622,543,809	△1,986,666

正味財産増減計算書内訳表

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益		245,846		245,846
基本財産受取利息		245,846		245,846
特定資産運用益	3,575	354		3,929
特定資産受取利息	3,575	354		3,929
事業収益	90,744,056	17,747,065	△913,530	107,577,591
国保連合会収益	35,209,226	10,648,239		45,857,465
社保支払基金収益	23,730,002	5,324,120		29,054,122
デンキ自己負担金収益	1,874,754	1,774,706		3,649,460
研修事業収益	624,000			624,000
就労支援事業収益	2,415,532		△913,530	1,502,002
訓練等給付費収益	25,483,502			25,483,502
就労支援自己負担金収益	538,800			538,800
その他の事業収益	868,240			868,240
受取補助金等	31,467,138	578,690		32,045,828
受取補助金等振替額	12,402,831	578,690		12,981,521
北海道委託金	15,260,547			15,260,547
札幌市委託金	3,803,760			3,803,760
受取寄付金	1,359,000			1,359,000
受取寄付金	1,359,000			1,359,000
雑収益	505,849	140,627		646,476
受取利息	12,636			12,636
雑収益	493,213	140,627		633,840
経常収益計	124,079,618	18,712,582	△913,530	141,878,670
(2) 経常費用				
事業費	117,831,177		△913,530	116,917,647
給料手当	57,876,843			57,876,843
臨時雇賃金	9,179,473			9,179,473
退職給付費用	4,207,562			4,207,562
福利厚生費	9,740,929			9,740,929
旅費交通費	1,977,350			1,977,350
通信運搬費	896,722			896,722
減価償却費	9,282,753			9,282,753
消耗什器備品費	933,813			933,813
消耗品費	2,472,042		△22,370	2,449,672
修繕費	2,399,925			2,399,925
印刷製本費	225,828			225,828
燃料費	748,421			748,421
光熱水料費	2,017,705			2,017,705
賃借料	1,757,180			1,757,180
保険料	595,301			595,301
諸謝金	2,955,500			2,955,500
租税公課	910,189			910,189
支払負担金	313,759			313,759
委託費	5,995,764		△700,000	5,295,764
医薬材料費	20,274			20,274
デイケア材料費	1,026,221			1,026,221
利用者工賃	1,865,743			1,865,743
支払手数料	431,880		△191,160	240,720
管理費		18,306,174		18,306,174
役員報酬		103,600		103,600
給料手当		13,174,482		13,174,482
臨時雇賃金		12,272		12,272
退職給付費用		416,133		416,133
福利厚生費		1,987,947		1,987,947
会議費		32,940		32,940
旅費交通費		26,640		26,640
通信運搬費		117,464		117,464
減価償却費		621,182		621,182
消耗品費		154,242		154,242
修繕費		166,511		166,511
燃料費		52,193		52,193

正味財産増減計算書内訳表

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
光熱水料費		127,129		127,129
賃借料		32,174		32,174
保険料		53,933		53,933
租税公課		30,761		30,761
支払負担金		59,241		59,241
雑費		29,388		29,388
支払手数料		54,941		54,941
委託費		1,053,001		1,053,001
経常費用計	117,831,177	18,306,174	△913,530	135,223,821
評価損益等調整前当期経常増減額	6,248,441	406,408		6,654,849
評価損益等計				
当期経常増減額	6,248,441	406,408		6,654,849
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	2,994			2,994
什器備品売却損	2,994			2,994
経常外費用計	2,994			2,994
当期経常外増減額	△2,994			△2,994
税引前当期一般正味財産増減額	6,245,447	406,408		6,651,855
当期一般正味財産増減額	6,245,447	406,408		6,651,855
一般正味財産期首残高	63,792,460	7,506,166		71,298,626
一般正味財産期末残高	70,037,907	7,912,574		77,950,481
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	4,343,000			4,343,000
受取国庫補助金	3,255,000			3,255,000
受取民間助成金	1,088,000			1,088,000
一般正味財産への振替額	12,402,831	578,690		12,981,521
一般正味財産への振替額	12,402,831	578,690		12,981,521
当期指定正味財産増減額	△8,059,831	△578,690		△8,638,521
指定正味財産期首残高	540,922,720	10,322,463		551,245,183
指定正味財産期末残高	532,862,889	9,743,773		542,606,662
Ⅲ 正味財産期末残高	602,900,796	17,656,347		620,557,143

財 産 目 録

平成28年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金 普通預金 未収金 前払金	北洋銀行白石中央支店他3口座 診療報酬、診療報酬自己負担分他 前払家賃	運転資金として	9,632,191 9,632,191 21,691,706 70,000
	流動資産合計			31,393,897
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	札幌市平成27年度第9回公募公債他	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	49,982,970
	諸貯金	北洋銀行白石中央支店	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	17,030
特定資産	退職給付引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、31,015,823円は公益目的事業会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。	34,083,323
	減価償却引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、3,067,500円は法人会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。 右記金額のうち、41,773,997円は公益目的事業会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている預金。	44,710,608
その他固定資産	土地	4,819.66㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、2,936,611円は法人会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている預金。	347,016,000
	建物	1,718㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、464,243,115円は公益目的保有財産であり、公益目的事業の施設に使用している。	497,434,011
	什器備品	応接セット他62点	右記金額のうち、33,190,896円は管理活動財産であり、法人会計の施設に使用している。	23,768,993
	減価償却累計額 △ 構築物	館名板他3点	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	366,490,102
			公益目的保有財産であり、公益目的事業の設備として使用している。	7,414,959

財 産 目 録

平成28年 3月31日 現在

貸借対照表科目			場所・物量等	使用目的等	(単位：円)
固定資産合計	車両運搬具	△	ホンダ ストリーム他1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	金額 2, 207, 755
	減価償却累計額		日本電信電話㈱	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	8, 237, 526
	電話加入権		リサイクル預託金 車輻2台分・事業所敷金	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している車輻運搬具に係るリサイクル料及び事業所敷金である。	352, 024
	預託金				45, 460
固定資産合計					632, 305, 505
資産合計					663, 699, 402
(流動負債)	未払金		職員及び事業者等に対する未払額	公益目的事業会計及び法人会計での給与手当及び経常経費の未払分である。	6, 356, 843
	未払消費税等		平成27年度消費税		442, 800
	預り金		社会保険料職員自己負担分		2, 259, 293
流動負債合計					9, 058, 936
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	34, 083, 323
					34, 083, 323
固定負債合計					43, 142, 259
負債合計					620, 557, 143
正味財産					

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

個別原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(3) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,974,971	19,967,999	19,960,000	49,982,970
諸貯金	25,029		7,999	17,030
小 計	50,000,000	19,967,999	19,967,999	50,000,000
特定資産				
土地	347,016,000			347,016,000
建物	162,730,092		9,393,028	153,337,064
什器備品	737,707	925,080	286,949	1,375,838
退職給付引当資産	29,459,628	4,623,695		34,083,323
減価償却引当資産	38,010,608	6,700,000		44,710,608
小 計	577,954,035	12,248,775	9,679,977	580,522,833
合 計	627,954,035	32,216,774	29,647,976	630,522,833

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,982,970	49,982,970		
諸貯金	17,030	17,030		
小 計	50,000,000	50,000,000	0	0
特定資産				
土地	347,016,000	347,016,000		
建物	153,337,064	145,429,353	7,907,711	
什器備品	1,375,838	24	1,375,814	
退職給付引当資産	34,083,323			34,083,323
減価償却引当資産	44,710,608		44,710,608	
小 計	580,522,833	492,445,377	53,994,133	34,083,323
合 計	630,522,833	542,445,377	53,994,133	34,083,323

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高（貸倒引当金を直接控除した 残額のみを記載した場合）

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

（単位：円）

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	21,691,706		21,691,706
合 計	21,691,706	0	21,691,706

7. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当なし

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
北海道平成25年度第15回公募公債	30,022,955	31,419,000	1,396,045
札幌市平成27年度第9回公募公債	19,960,015	20,244,000	283,985
合 計	49,982,970	51,663,000	1,680,030

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
地域移行支援事業	北海道		7,851,639	7,851,639	0	一般正味財産
高次脳機能事業	〃		1,596,996	1,596,996	0	一般正味財産
ひきこもり事業	〃		5,811,912	5,811,912	0	一般正味財産
ひきこもり事業	札幌市		3,803,760	3,803,760	0	一般正味財産
国庫補助金					0	
厚生労働省事業	厚生労働省		3,255,000	3,255,000	0	指定正味財産
民間助成金					0	
赤い羽根助成	札幌市共募		288,000	126,715	161,285	指定正味財産
社会福祉事業研究助成	三菱財団	162,633	800,000	962,633	0	指定正味財産
合 計		0	23,407,307	23,408,655	161,285	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内 容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	8,637,173
国庫補助金当期使用分振替額	3,255,000
民間助成金当期使用分振替額	1,089,348
合 計	12,981,521

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な後発事象

該当なし

13. その他

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	49,974,971	19,967,999	19,960,000	49,982,970
	諸貯金	25,029		7,999	17,030
	基本財産計	50,000,000	19,967,999	19,967,999	50,000,000
特定資産	土地	347,016,000			347,016,000
	建物	162,730,092		9,393,028	153,337,064
	什器備品	737,707	925,080	286,949	1,375,838
	退職給付引当資産	29,459,628	4,623,695		34,083,323
	減価償却引当資産	38,010,608	6,700,000		44,710,608
	特定資産計	577,954,035	12,248,775	9,679,977	580,522,833

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	29,459,628	4,623,695			34,083,323

収 支 計 算 書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入	650,000	245,846	△404,154
基本財産利息収入	650,000	245,846	△404,154
(2) 特定資産運用収入	70,000	3,929	△66,071
特定資産利息収入	70,000	3,929	△66,071
(5) 事業収入	109,745,000	107,577,591	△2,167,409
国保連合会収入	47,253,000	45,857,465	△1,395,535
社保支払基金収入	23,627,000	29,054,122	5,427,122
デンワ自己負担金収入	7,875,000	3,649,460	△4,225,540
研修事業収入	471,000	624,000	153,000
就労支援事業収入	720,000	1,502,002	782,002
訓練等給付費収入	27,816,000	25,483,502	△2,332,498
就労支援自己負担金収入	732,000	538,800	△193,200
その他の事業収入	1,251,000	868,240	△382,760
(6) 補助金等収入	23,834,547	23,407,307	△427,240
国庫補助金収入	3,563,000	3,255,000	△308,000
民間助成金収入	1,207,000	1,088,000	△119,000
北海道委託金収入	15,260,547	15,260,547	
札幌市委託金収入	3,804,000	3,803,760	△240
(8) 寄付金収入	1,359,000	1,359,000	
寄付金収入	1,359,000	1,359,000	
(9) 雑収入	506,000	646,476	140,476
受取利息収入	10,000	12,636	2,636
雑収入	496,000	633,840	137,840
事業活動収入計	136,164,547	133,240,149	△2,924,398
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	104,630,056	103,427,332	1,202,724
給料手当支出	57,877,101	57,876,843	258
臨時雇賃金支出	9,183,276	9,179,473	3,803
福利厚生費支出	9,741,000	9,740,929	71
旅費交通費支出	1,987,000	1,977,350	9,650
通信運搬費支出	897,000	896,722	278
消耗什器備品費支出	934,000	933,813	187
消耗品費支出	2,474,269	2,449,672	24,597
修繕費支出	2,459,000	2,399,925	59,075
印刷製本費支出	235,000	225,828	9,172
燃料費支出	749,000	748,421	579
光熱水料費支出	2,025,000	2,017,705	7,295
賃借料支出	1,758,000	1,757,180	820
保険料支出	596,000	595,301	699
諸謝金支出	2,956,000	2,955,500	500
租税公課支出	910,410	910,189	221
負担金支出	395,000	313,759	81,241
委託費支出	5,996,000	5,295,764	700,236
医薬材料費支出	53,000	20,274	32,726
デイケア材料費支出	1,036,000	1,026,221	9,779
利用者工賃支出	1,866,000	1,865,743	257
手数料支出	502,000	240,720	261,280
(2) 管理費支出	19,059,491	17,268,859	1,790,632

収 支 計 算 書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
役員報酬支出	153,000	103,600	49,400
給料手当支出	13,186,379	13,174,482	11,897
臨時雇賃金	66,112	12,272	53,840
福利厚生費支出	2,645,000	1,987,947	657,053
会議費支出	45,000	32,940	12,060
旅費交通費支出	27,000	26,640	360
通信運搬費支出	167,000	117,464	49,536
消耗品費支出	727,000	154,242	572,758
修繕費支出	167,000	166,511	489
燃料費支出	175,000	52,193	122,807
光熱水料費支出	175,000	127,129	47,871
賃借料支出	47,000	32,174	14,826
火災保険料支出	57,000	53,933	3,067
租税公課支出	31,000	30,761	239
負担金支出	105,000	59,241	45,759
雑支出	30,000	29,388	612
手数料支出	55,000	54,941	59
委託費支出	1,201,000	1,053,001	147,999
事業活動支出計	123,689,547	120,696,191	2,993,356
事業活動収支差額	12,475,000	12,543,958	68,958
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(1) 基本財産取崩収入	19,968,000	19,967,999	△1
投資有価証券売却収入	19,960,000	19,960,000	
諸貯金取崩収入	8,000	7,999	△1
投資活動収入計	19,968,000	19,967,999	△1
2. 投資活動支出			
(1) 基本財産取得支出	19,968,000	19,967,999	1
投資有価証券取得支出	19,968,000	19,967,999	1
(2) 特定資産取得支出	12,475,000	12,248,775	226,225
退職給付引当資産取得支出	4,625,000	4,623,695	1,305
減価償却引当資産取得支出	6,701,000	6,700,000	1,000
什器備品取得支出	1,149,000	925,080	223,920
投資活動支出計	32,443,000	32,216,774	226,226
投資活動収支差額	△12,475,000	△12,248,775	226,225
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動収支差額			
Ⅳ 予備費支出			
当期収支差額		295,183	295,183
前期繰越収支差額		22,039,778	22,039,778
次期繰越収支差額		22,334,961	22,334,961

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、未払消費税等及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	8,475,203	9,632,191
未 収 金	18,835,319	21,691,706
前 払 金	70,000	70,000
合 計	27,380,522	31,393,897
未 払 金	3,726,939	6,356,843
未 払 消 費 税 等	789,500	442,800
預 り 金	824,305	2,259,293
合 計	5,340,744	9,058,936
次期繰越収支差額	22,039,778	22,334,961

4 監 査 報 告

監 査 報 告 書

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

理事長 阿 部 幸 弘 様

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成 28 年 5 月 20 日

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監 事

曾我 浩司



公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監 事

三塚 昌男



昭和62年	8月20日	民法第34条の規定に基づく財団法人北海道精神保健推進協会設立許可申請
〃	9月1日	同上許可（北海道知事）
〃	9月1日	財団法人北海道精神保健推進協会事務局設置
〃	9月10日	法人登記
平成元年	2月16日	「札幌デイ・ケアセンター」開設
〃21年	4月1日	「こころのリカバリー総合支援センター」に改称
〃24年	4月1日	財団法人から公益財団法人へ移行
〃26年	6月16日	就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」開設

3 施設の概要

（１）「こころのリカバリー総合支援センター」

所在地	札幌市白石区平和通17丁目北1番13号		
建物構造	鉄筋コンクリート1部2階建		
面積	敷地面積	4,819.66 m ²	
	建築延面積	1,793.67 m ²	
	・管理訓練棟	1,282.45 m ²	
	・体育館	463.20 m ²	
	・その他(書庫 倉庫等)	48.02 m ²	
付属設備	テニスコート	1面	
	ゲートボールコート	1面	
	菜園(畑)	144.50 m ²	

（２）「こころカ・プロダクション」

所在地	札幌市白石区平和通15丁目北13番18号		
建物	民間住宅借上	木造3LDK	90.26 m ²

4 基本財産

基本財産の総額は5,000万円で、すべて関係団体の寄附金及び北海道、札幌市からの出捐金であり、その内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

機 関、団 体 名	金 額
北海道精神病院協会	10,000,000
北海道精神障害者家族連合会	10,000,000
札幌市婦人福祉推進協会	10,000,000
北海道	10,000,000
札幌市	10,000,000
計	50,000,000

資 料 編

1 理事・監事・顧問・参与・評議員名簿

(平成28年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属	備考
理 事 長	阿 部 幸 弘	こころのリカバリー総合支援センター所長	
副理事長	池 田 輝 明	北海道精神病院協会会長 桑園病院院長	
常務理事	中 川 悟	北海道精神保健推進協会事務局長	
理 事	生 駒 一 憲	北海道大学病院リハビリテーション科教授	
理 事	川 村 邦 彦	北海道精神神経科診療所協会会長 川村メンタルクリニック院長	
理 事	小 出 英 子	札幌学院大学人文学部教授	
理 事	嶋 内 明	札幌市保健福祉局障がい保健福祉部長	
理 事	中 村 未太郎	北海道精神障害者家族連合会会長	
理 事	林 下 忠 行	札幌精神科医会会長 林下病院院長	
理 事	森 昭 久	北海道保健福祉部技監	
監 事	曾 我 浩 司	北洋銀行常勤監査役	
監 事	三 塚 昌 男	北海道新聞社常勤監査役	
顧 問	伊 東 嘉 弘	桑園病院 顧問	
参 与	田 邊 等	北海道精神保健福祉センター所長	
評 議 員	鎌 田 隼 輔	札幌市保健福祉局精神保健福祉センター所長	
評 議 員	小 山 司	大谷地病院 臨床研究センター長	
評 議 員	菅 原 悦 子	NPO法人札幌市精神障害者家族連合会会長	
評 議 員	善養寺 圭 子	北海道家庭生活総合カウンセリングセンター副理事長	
評 議 員	田 熊 昭 紀	こころのリカバリー総合支援センター「リラの会」会長	
評 議 員	舘 岡 芳 実	NPO法人オーク会ばる指導員	
評 議 員	田 中 奈美子	こころのリカバリー総合支援センター医療参事	
評 議 員	土 肥 一 一	こころのリカバリー総合支援センターOB会会長	
評 議 員	西 村 正 樹	DPI (障害者インターナショナル) 日本会議 副議長	
評 議 員	堀 享 一	北海道大学病院診療支援部長	
評 議 員	宮 岸 真 澄	NPO法人精神障害者回復者クラブすみれ会理事長	

2 財団法人設立の経過等

昭和62年 7月 7日	財団法人設立準備委員会発足 (第1回会議)
〃 8月10日	財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立準備委員会 (第2回会議)
〃 8月11日	財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立発起人会 (設立総会)